

学校自己評価報告書

令和2年度

令和3年2月

学校法人長嶋学園

専門学校静岡医療秘書学院

学校評価委員会

委員長	紀平 幸一 (学院長)
副委員長	増田 正史 (法人理事長)
	小林 利彦 (副学院長)
委員	金原 保雄 (法人事務長)
	大石 誠 (教頭)
	高市 篤哉 (学生課長)
	野々村大介 (教務課長)

目 次

学校評価について	P 1
I 学校の現況	P 2
II 評価の基本方針	P 3
III 教育目標・計画	P 3
IV 評価項目の達成及び取組状況	
1. 教育理念・目標	P 4
2. 学校運営	P 5
3. 教育活動	
①目標の設定等	P 6
②教育方法・評価等	P 7
③資格試験	P 8
④教職員	P 9
4. 学習成果	P 10
5. 学生支援	P 11
6. 教育環境	P 12
7. 学生の受入れ募集	P 13
8. 財務	P 14
9. 法令等の遵守	P 15
V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果	P 16

学校評価について

教職員による自己評価

評価項目

「専修学校における学校評価ガイドライン」を基に項目を設定

評価方法

教職員が学校の目標・計画等に沿った取組の達成状況や、それらの取組が適切に行われたかについて評価・公表を行い、学校運営の改善等に活用する。

各評価項目を「専修学校における学校評価ガイドライン」に準じて4段階で評価し、その評価点の平均値を算出して評価項目の評価点とする

学生による自己評価

評価項目

授業内容に対する評価を10項目にわけて、無記名にてアンケート調査を実施

評価方法

各評価項目を4段階で評価し、その評価点の平均値を算出して評価項目の評価点とする

学校関係者評価

学校関係者評価委員が学校の教育活動や教育環境など自己評価報告書を基に評価する

I 学校の現況

1. 学校名 専門学校静岡医療秘書学院

2. 所在地 〒422-8042 静岡市駿河区石田1丁目20番11号

3. 沿革

1968（昭和43）年 静岡県医師会副看護学院（通信制）として開校

1976（昭和51）年 静岡県医師会MS学院と改名（MS…Medical Secretary）

1984（昭和59）年 静岡県医師会医療秘書学院と改名（高卒以上一般公募開始）

1991（平成3）年 本学院の運営を学校法人静岡女子商業学園が受託

1993（平成5）年 専門学校静岡医療秘書学院として開校

2003（平成15）年 法人名を長嶋学園に変更

4. 学科の構成

課程名 商業実務専門課程

学科名 医療秘書科

修業年限 2年 全日制

5. 学生数及び教職員数（令和3年2月1日現在）

学生数 68名

教職員数 専任3名、講師18名

事務職員 1名

6. 施設の概要

1階

職員室兼事務室、学院長室、多目的教室（101教室）、保健室、ロビー

2階

普通教室、情報処理室、学生ホール（図書コーナー）、教材準備室

Ⅱ 学校の基本方針

教育理念

日本医師会認定医療秘書養成機関に相応しい、専門的な医療事務の知識と最新の情報処理技能を兼ね備え、全国の医師が本当に求める医療秘書を養成する。

また、医療業務に携わるために必要な知識と技能を習得するだけでなく、人として義を重んじ礼を尽くす人間形成に基づき、医療現場において病める人たちに優しく接し、人の悩みのわかる人間愛に根ざした奉仕の精神を兼ね備えた人材を育成する。

Ⅲ 教育目標・計画

1. 日本医師会認定医療秘書養成機関として、良好な医療体制を構成するチーム医療の一員として医療機関で重要な役割を担う医療秘書を育成する。
2. 教育環境に常に気をくばり対応するとともに、社会・医療関係者の意見をより多く取り入れる。
3. 学院生便覧(学則・細則・教育課程・教務規程・学生の心得等のさまざまな規程)を理解させ教育を行う
4. 教職員は、学生の伴奏者であることを自覚し、学生個々の将来を見据えた教育を行う。

IV 評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・目的・人材育成像

評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	③	2
学校における職業教育の特色は定められているか	④	3	2	1
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学校に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

【特記事項】

- ◆ 理念等は P3 記載
- ◆ 医療機関において卒業後即戦力となる人材を育てるために現職医師等の講師陣による専門的な授業を行っている

【課題】

- ◆ 医療機関から求められる人材は約 8 割が急な退職等による年度中の補充人員、約 2 割が計画雇用であるが、カリキュラムや行事等が多いため、他校に比べ対応しづらい
- ◆ 卒業後即戦力となる人材を育成するために、専門的な授業や資格取得を行っているが、病・医院見学や実習をもっと取り入れたい。
- ◆ 知識・技能は前向きに取り組み向上しているが、礼儀作法は、知識は持っても日常生活での実践がなかなか出来ていない
- ◆ 新卒業生を対象に「医療情報管理科」を設置し、病院への就職を広げていきたいと考えている

【改善策】

- ◆ 日医推奨以外のカリキュラムの改正、実習への振り替え、行事の見直し等であるが、限度がある
- ◆ 日常生活の中でも、立ち振る舞いが自然に出来るよう意識した学校生活にさせたい
- ◆ 各医療機関によって仕事内容が異なるので、現場での体験・経験不足となり学生が不安を抱いている。実践的な授業内容を増やして欲しい。

2. 学校運営

評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4	③	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

【特記事項】

- ◆ 情報公開についてはHPで公開している
- ◆ 新しく HP の更新ソフトを導入した
- ◆ 各職員が共有できるNASを導入した

【課題】

- ◆ システムや書類等、個人で管理しているものが多く、年度ごとに対処が異なる
- ◆ 本年度は、新型コロナ感染拡大防止により、年度当初の事業予定を変更せざるを得なかったが、感染対策を早期に行い、早くから通常日課に戻したため、大幅な変更を要することはなかった
- ◆ 上記理由により、外部講師による各種セミナーは残念ながら中止が相次いだ

【改善策】

- ◆ NASの導入により、共有化を図っているので今後さらに改善できる
- ◆ HP のリニューアルにより、シラバスや自己評価だけでなく、学校行事に関しても常に最新情報を公開しているので改善できている

3. 教育活動 ①目標の設定等

評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2
教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての終業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1

【特記事項】

- ◆ 教育理念については P3 記載
- ◆ 日本医師会認定医療秘書要綱のカリキュラムに準拠している

【課題】

- ◆ 本年度の卒業生に関しては現行の水準に到達していると思われる

【改善策】

- ◆ 現在の設置科目が適切か、現役ドクターである講師の先生方にもご意見を伺う

3. 教育活動 ②教育方法・評価等

評価項目	適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
カリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実施的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置付けられているか	4	③	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れられているか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業の基準は明確になっているか	④	3	2	1

【特記事項】

- ◆ 日本医師会認定医療秘書要綱のカリキュラムに準拠している
- ◆ 上記カリキュラムの他、看護概説・病院関連事務・礼儀作法等、医療機関のニーズを踏まえ設置している
- ◆ 病・医院実習の際は学生に実習報告書を作成させ、実習先の担当者からは評価をいただく
- ◆ 学生による授業評価を実施

【課題】

- ◆ 毎年の課題でもあるが、病・医院実習の時期により就職内定先で実習するのか、就職に関係しない医療機関で実習するのかに分かれるため、考察が必要
- ◆ 教科担当の講師から教科書の内容が古く項目がバラバラで使いづらいと指摘があった
- ◆ カリキュラムに準じた授業では、内定先から実習期間延長の依頼があっても、期待に沿えないことがある。現場で体験・経験を積ませることも必要ではないだろうか。

【改善策】

- ◆ 教科書に関して内容が明確になるよう改善してほしいと依頼する

3. 教育活動

③資格試験

評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	資格取得の指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	④	3	2

【特記事項】

- ◆ 日本医師会医療秘書認定に必要な資格が取得できるよう、カリキュラムが組まれている
- ◆ 医療保険請求事務実技試験について、36名受験、34名合格。受験した14校のうち3番目の合格率となった
- ◆ 資格取得の奨励のため苦手分野克服、答案練習等の時間を確保するため、課題研究の授業をカリキュラムに導入している

【課題】

- ◆ 目標である医療保険事務・日医の2資格及び関連教科について、講師の複数体制を確保したい
- ◆ 資格取得に励んでいる学生が多いが、中には日本医師会医療秘書認定に必要な最低資格だけで満足している学生いるので、さらなる向上心を持ってスキルアップするよう指導する

【改善策】

- ◆ 常勤の教員全員が資格取得に関して指導できるよう知識を身につける
- ◆ 資格取得に励んでいる学生が多くいるので、もう少し多くの検定種目へチャレンジさせたい

(日本漢字能力検定、話しことばコミュニケーション検定、マイクロソフトオフィススペシャル等)

3. 教育活動

④教職員

評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	人材取得目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・建武含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

【特記事項】

- ◆ 医療・保健・福祉基礎の専門教科は、それぞれの専門分野の現役ドクターを講師として招いているため、変化する医療界の情報も得ることが出来る
- ◆ 医療情報処理に関する知識・技能を持った教員を有している

【課題】

- ◆ 備品の使用法等の説明会・研修はあるが、教材に関してはあまり行われていない
- ◆ 職員の人数が少なく抱えている仕事が多い。また、学院の発展や学生の指導に意欲的な人材が欠如している
- ◆ それぞれの分野の最新の専門知識を有していると考えられる

【改善策】

- ◆ ORCAに関しては研修会が必要
- ◆ 仕事の能率を上げるには人材の確保が望ましい。また、何事にも積極的・意欲的な教員の補充が必要である

4. 学習成果

評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	就職率の向上が図られているか	④	3	2
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

【特記事項】

- ◆ 2年連続で就職希望者の就職決定率は100%と高い。またほとんどが関連分野へ就職している
- ◆ 専門課程を学ぶ学生として、何を目指しているのか、常に学ぶ目的を意識させている
- ◆ 資格取得に対する補講を実施している
- ◆ 目標である日本医師会医療秘書認定試験、全医秘協医療保険請求事務実技試験の合格率は高レベルをキープしている

【課題】

- ◆ 同窓会を整備し活発化させ、卒業生からの情報を集約できるようにしたい
- ◆ 日本医師会認定試験で必要な最低限の資格を取得すればいいと考えている学生がいるので社会で通用する知識・技能を修得する向上心を持たせたい

【改善策】

- ◆ 来年度中に同窓会を整備する
- ◆ 医療機関へ就職するために、どのような知識の修得が必要で、どのような技能を必要とされているかを理解させた上で、資格取得等に望ませる

5. 学生支援

評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1
関連分野における業界との連携による卒業後の再教育プログラム等を行っているか	4	③	2	1

【特記事項】

- ◆ 今年度から高等教育の修学支援新制度の対象機関として認められ、条件を満たす学生は給付奨学金と入学金・授業料減免を利用できるようになった
- ◆ 就職には静岡県医師会報の PR 効果が大きい
- ◆ 進路決定までに個別面談を重ね、各自の希望に合わせた進路先を紹介している

【課題】

- ◆ バレーボール以外の課外活動はできないか
- ◆ 静岡県医師会報の PR 効果が大きいいため、学生は就職が決まるのが当たり前だと勘違いしている
- ◆ 卒業生の再教育プログラム等は必要と考えるが、なかなか実施が出来ていない

【改善策】

- ◆ 学生の希望に沿う就職先を紹介しているが、就職先に見合う知識と技能が足りない学生がいるので、力をつけるようにより個別に指導する必要がある

6. 教育環境

評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

【特記事項】

- ◆ zoom などの遠隔授業のため貸出用のノート PC を購入した。自宅に PC が無い学生もスマホではなく大画面で授業ができるよう環境を整えた
- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2 年生の海外修学旅行と遠足は中止、1 年生は秋の遠足のみ実施し、3 月に病院見学を予定している
- ◆ 2 年生の病医院実習は全員無事に終えることができた
- ◆ 防災対策として、水、カロリーメイト、携帯トイレ、ウェットティッシュを備蓄している

【課題】

- ◆ 遠隔授業を行う機材は整ったが、全講師陣に利用できるスキルがあるわけではない
- ◆ 本年度は、コロナ禍のため例年通りとは行かなかったが、そのような状況であっても充実していたと考えられる

【改善策】

- ◆ 遠隔授業用ソフトについての研修が必要

7. 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	④	3	2
学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学生納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

【特記事項】

- ◆ 真実性・明瞭性・公平性・法令遵守等十分配慮し、入学希望者に判断材料を提供している
- ◆ パンフレットは3年1度のリニューアルを目標にしている。
- ◆ HPは最新情報に更新し、学校の良さが十分伝わるように取り組んでいる

【課題】

- ◆ 袋井・磐田以西（特に浜松）、富士以東（特に沼津）からの入学生が少ない
- ◆ 本年度はコロナ禍のため、高等学校への訪問時期が遅くなり、例年ほどの情報伝達は出来なかった

【改善策】

- ◆ アパートの斡旋等を案内しているが、通学費用の援助等が必要かもしれない

8. 財務

評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制準備はできているか	④	3	2	1

【特記事項】

- ◆ 財務情報は HP で公開している

【課題】

- ◆ 年に最低 30 人以上の入学生を確保しなければならない
- ◆ 併設校であるので、城南静岡高等学校と連携して双方の入学生数の安定が必要

【改善策】

- ◆ ある程度高い目標を設定し、特に城南静岡高等学校からの入学者数の目標値を設定する

9. 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

【特記事項】

- ◆ 自己評価結果は HP で公開している

【課題】

- ◆ 東西部からの入学者数の増加等、長年の懸案事項に対する解答が見つかっていない
- ◆ 個人情報については、セキュリティ強化をしたので、外部に漏れることは無いと考えられるが、今後も注意していきたい

【改善策】

- ◆ 本自己評価で積極的なご意見を求む

V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本年度は終息しないコロナ禍の中で講師・スタッフ及び学生の感染者（陽性者）を出さず、年度内に所定のカリキュラムを終了させることができたことについては、陽性者を出し、業務に支障がでることとなった他校と比較しても、学校として評価できる対応ができていたのではないかと思う。引き続き不測の事態が生じた場合にも対処できる危機管理を含め、万全の体制を取るために、活発な意見交換と積極的な経営活動が必要になってくることが予想される。

また、本学院が社会的な評価を高めていくためには、教職員が一丸となって目標や計画を遂行していく必要がある。教育に対する方向性を統一して学生の指導にあたる。そのためには、教職員の意識、行動のさらなる活性化が求められる。学生が学校を信頼し安心して学べる教育体制を整えなければならない。教員の質の維持・向上が求められていることを十分認識すべきである。

また、病院や医師など、医療関係者と連携を強化し、専門学校としての教育力を向上させるとともに、カリキュラム変更や外部講師による授業、講話の充実を図っていく。

総合的には、適切な活動をしていたと思う。教員は、学生の目標を明確にし、学生自身が、自ら目標に向かって考え、努力することにより、知識・技能・人間力を高めようとする向上心を育成することが仕事であると考え。知識・技能を教えることはもちろんであるが、自ら未知についても進んで学ぶ力を育てたい。

令和2年度 学校関係者評価報告書

III 教育目標・計画

1. 日本医師会認定医療秘書養成機関として、良好な医療体制を構成するチーム医療の一員として医療機関で重要な役割を担う医療秘書を育成する。
2. 教育環境に常に気をくばり対応するとともに、社会・医療関係者の意見をより多く取り入れる。
3. 学院生便覧(学則・細則・教育課程・教務規程・学生の心得等のさまざまな規程)を理解させ教育を行う
4. 教職員は、学生の伴奏者であることを自覚し、学生個々の将来を見据えた教育を行う。

教育目標・計画に対する評価・意見

・学生は、専門学校への進学を選択した時点で将来進むべき方向を決定されていることと思います。医療機関での即戦力な人材として、学生自身の意欲的に学習に取り組めるよう引き続き支援をお願いします。

・日本医師会認定の医療秘書養成機関というのは大きな魅力の1つだと思うので、その事に恥じないような教育・育成を期待しています。

・本年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、色々な学校行事が中止となり残念でした。実習先の病院を探すことも大変だったと思います。受け入れ先で学生達が、社会人として又医療関係者としての心構えなど、自分の肌で感じ取れたのではないかと思います。先生方には一人一人最後までしっかりと御指導いただきとても感謝しております。

・コロナ禍の中、学校でのマスク、手指消毒、検温、教室内の換気と大変だと思いますが、宜しくお願いいたします。

・医療秘書学院の先生方は、わからない事など、聞きやすい環境を作ってくださっているので、引き続き学生に寄り添っていただけたら良いなと思います。

・他の学校と違い、医師の方々の授業を受ける事ができるのは魅力だと思う。医療秘書とは何かを、もう少し社会に伝わると良いと思う。

IV 評価項目の達成及び取組状況について

	学校関係者評価委員の評価			
	自己評価の結果が適切か	課題が適切か	改善策が適切か	
	適切…4 やや適切…3 ほぼ不適切…2 不適切…1			
1. 教育理念	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・現場での体験不足により学生が不安を抱いているとの記述が見受けられた。先輩からのアドバイスや医療秘書の一日を取材(映像や写真にして)するなどして、より実態がつかめるような工夫をされたら如何か。 ・理念と将来構想に関して、自己評価が「4」でないことが残念に思います。 ・改善策の最下段の「増やしてほしい。」というの→「増やす。」が適当ではないでしょうか。 ・課題にもあったが、病医院見学や実習の機会がもっと増えると、病院を比べたりできるから良いと思った。
2. 学校運営	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新型コロナウイルスの影響を受けると思われるので、新しい生活様式に対応しながら運営して行って欲しい。 ・企業、関係施設の活用などをしたらどうか。
3. 教育活動 ①目標の設定等	4	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・全国医師会医療秘書学院連絡協議会での情報交換なども活用されたい。 ・全項目で最も低い自己評価としているにも関わらず、課題と改善策が非常に空白であることが気になります。
3. 教育活動 ②教育方法・評価等	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容が古くても覚え置くのも大事だと思います。 ・8割が急な退職による補充、計画雇用は2割という状況から、内定先での実習となると時期が遅れてしまうことが想定される。実習の目的を明確にすべき。 ・教科書が古いとの指摘について、即戦力となる人材育成にそぐわない。 ・現場での経験や実際どのような仕事をしているのか、現場の人の話を聞く機会があると良いと思う(医師ではなく事務やクラークの人など)。
3. 教育活動 ③資格試験	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ、実技、実習(実戦的な職業教育)の実施 ・学校の様子は本人が話さない限り、全くわからないので、もう少し学校から保護者への連絡を密にしてくれたら家庭からも応援できたかもしれない ・現場で役立つ資格がどのようなものであるか、先輩の経験を参考にされたい。
3. 教育活動 ④教職員	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校法人内での教職員の異動や医療情報処理以外の研修など、指導力育成や資質向上には有効と思われる。
4. 学習成果	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・他の医療秘書養成校の学生に比べ、意欲的に業務に取り組むことができるように期待する。 ・常に目的を持って学ぶ
5. 学生支援	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・就職など、学生本人の希望はもちろんだが、三者面談などを行い、保護者と先生・学生での話し合いも必要と思う。 ・今後の生徒数の減少を見据え、成績や技能優秀者の特待生制度も検討されたい。 ・卒業生の進路決定までの見守り ・先生方に相談しやすい環境だと思ふ。
6. 教育環境	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も遠隔授業の場面はあると思われるので、講師陣に遠隔授業を行う際の操作マニュアルを配布し、テスト配信を繰り返しては如何か。 ・今できる範囲で。
7. 学生の受入れ募集	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページは、以前より見やすく魅力的になったと思う。姉妹高校の掲示板などを利用してアピールしていけたら良いと思う。 ・移動の制限がある中で大変だと思います。 ・ラッピングバスや行政の封筒への校名記載など、新しい広報活動にも積極的に取り組まれている。 ・磐田や浜松からだ交通費が負担になり、通うとなると近場を選びがちになるため、改善策の通学費用援助は効果があると思う。
8. 財務	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関がどのような人材を求めているか、入学生の確保にあたっては留意されたい。
9. 法令等の遵守	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報には今後も注意してください。

V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果についての意見

・新型コロナウイルスの感染拡大で、研修旅行や遠足が中止になってしまったのはとても残念でしたが、コロナが広がる中1人も陽性者を出すことなく医療機関への実習・研修を行うことができたことはとても良かったと思います。まだまだ、コロナ終息の目処が立っていないので、今後も充分注意しよりよい教育を目指して欲しいです。

・高齢化社会の到来に伴って医療需要はますます高まっております。医師の業務負担軽減により、より良質な医療の提供が望まれます。本校の卒業生全員がその役割を意識し、県内の医療を支えていただきたい。

・コロナ禍の中で、病院実習や医師、外部講師による授業を行うのは難しい時期だと思いますが、学生にとって良い刺激となると思うので、少しでも行えたら良いなと思います。

・生徒と教員の関係が相談しやすく、頼りになるからこそ、甘えすぎている部分があり、生徒の中にもあまり努力しない人が一部できてしまうと思う。改善策はわからないが、生徒に寄り添ってくれる今までの形は変える事無く、生徒が自分で向上心を高められる方法があると有ると良いと思った。